姫島村

公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月

目　次

第１章　本計画の概要
第１節　はじめに 3
第２節　本計画の位置づけ 3
第３節　計画進行管理、マネジメント 4
第４節　計画期間 4
第５節　対象施設 5

第２章　姫島村の概況
第１節　位置・地勢・沿革 9
第２節　人口動向 10
第３節　流出入人口 12
第４節　財政状況 13

第３章　公共施設等の現状と課題
第１節　公共施設等の数量 17
第２節　建築経過年数 19
第３節　将来の更新費用推計 20

第４章　公共施設等の管理に関する基本方針
第１節　基本的な方針 25
第２節　実施方針 26

第５章　施設分類ごとの管理に関する基本方針
第１節　文化施設 31
第２節　社会教育施設 32
第３節　スポーツ・レクリエーション施設 33
第４節　産業施設 34
第５節　学校教育施設 35
第６節　子育て支援施設 36
第７節　保健・福祉施設 37
第８節　行政施設 38
第９節　公営住宅 39
第10節　供給処理施設 40
第11節　医療施設 41
第12節　その他 42
第13節　インフラ施設 43

第1章

本計画の概要

第１節　はじめに

●公共施設等の最大限の有効活用

本村では高度経済成長期、急激な人口増加と社会変化により、公共施設等の整備が集中的に行われてきました。現在では、維持補修や改修の対象となる築 30 年以上の公共施設（ハコモノ）が、全体の約 40%を超え、老朽化による改修や建て替えの時期を迎えています。他市町村と比べ、公共施設等の老朽化による維持補修費、改修費等の規模は小さいものの、過疎化、少子高齢化、基幹産業である沿岸漁業の不振等で、財政状況は年々厳しくなっています。そのため、保有する公共施設等を効果的・効率的に活用し、必要な公共サービスを持続的に提供し続けられる仕組みづくりを行うことが、急務となっています。

全国でも同じように、公共施設等の老朽化による更新が問題となっています。それに伴い、国土交通省はインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するために、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化計画」を策定しました。

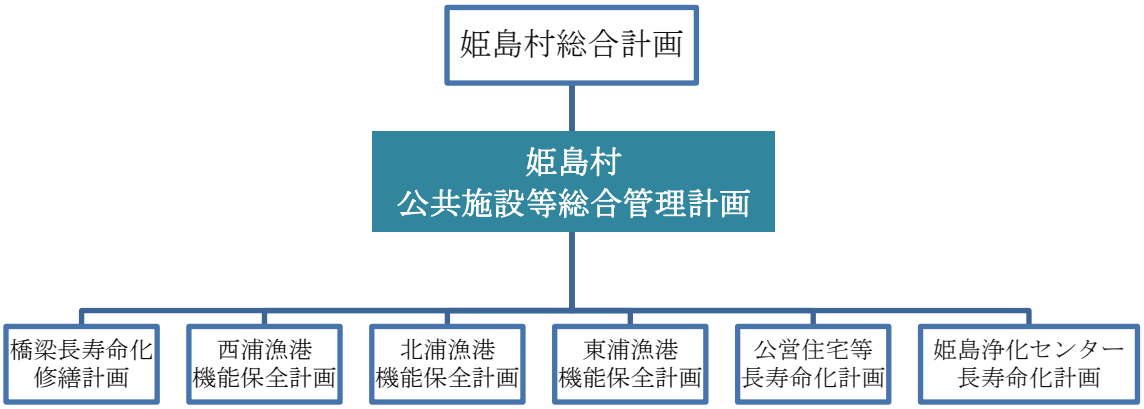
各地方公共団体においては、地方公共団体で管理している公共施設等について、総合的かつ計画的な管理を推進するため、平成 26 年 4 月に「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が示されました。

本計画では、上記の指針に則り、貴重な運営資源である公共施設等を最大限に有効活用するための方針を定め、健全で持続可能な財政運営の実現を図ります。

第２節　本計画の位置づけ

●横断的な指針を提示する計画

本計画は、村の最上位計画である「姫島村総合計画」を下支えする計画の一つであり、公共施設等の適正配置と整備を行うことで、健全で持続可能な行財政運営を推進するため、各政策分野における施設面の取組に関して横断的な指針を提示するものです。また、各種個別計画とも深く関係しています。

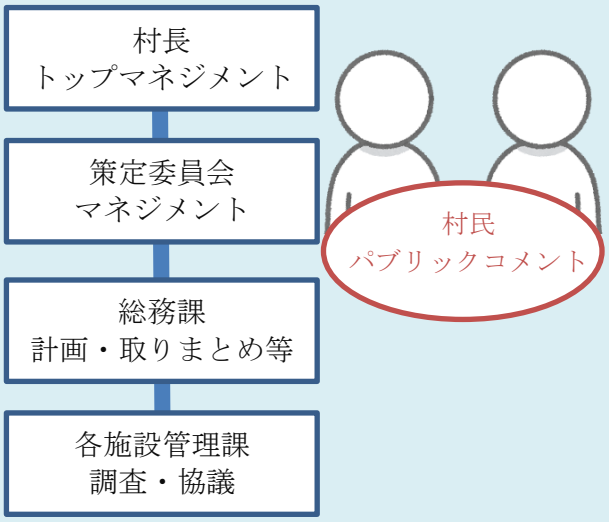


第３節　計画進行管理、マネジメント

●モノ・ヒト・カネを連動させ、未来を見据えた公共サービスの実現

現在、公共施設等を各施設管理課で所管していますが、今後は本計画に基づき、運営資源のひとつである公共施設等（モノ）の一体的な管理･運営を実施するとともに、人材育成・組織改革（ヒト）や今後導入される新公会計制度（カネ）と連動することで、全庁的な取組みを推進し、未来を見据えた最適な公共サービスを目指します。

そこで、本計画を策定するにあたり、総務課を中心に取りまとめ等を行い、施設についての調査や協議については、各施設管理課が主体となって進めるよう、庁内体制を整えます。



第４節　計画期間

●平成 29 年度から平成 68 年度までの 40 年間

本計画期間は、平成 29 年度から平成 68 年度までの 40 年間とし、計画内容は社会状況の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても適宜見直しを行うものとします。

第 5 節　対象施設

本計画では、公共施設等を公共施設（ハコモノ）とインフラ施設の 2 つに分類します。さらに、それぞれ用途別に公共施設（ハコモノ）は大分類 12 種類、インフラ施設は大分類 4 種類に分類し、整理します。

図表 1-1 対象施設用途分類

区分	大分類	中分類
公共施設（ハコモノ）	文化施設	集会施設
		文化施設
	社会教育施設	社会教育施設
	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設	運動公園
		その他スポーツ施設
	産業施設	産業振興施設
	学校教育施設	小中学校
		給食センター
		その他学校教育施設
	子育て支援施設	保育所
		幼稚園
	保健・福祉施設	保健福祉施設
	行政施設	庁舎等施設
		消防団・分団施設（倉庫・車庫）
		その他行政系施設
	公営住宅	公営住宅施設
	供給処理施設	簡易水道施設
		下水道施設
		漁業集落排水施設
	医療施設	国民健康保険診療所
	その他	その他施設
インフラ施設	道路	村道
	橋りょう	橋りょう
	簡易水道管	簡易水道管
	下水道管	下水道管
		漁業集落排水管

平成 27 年度決算における固定資産台帳のデータを使用

第2章

姫島村の概況

第 1 節　位置・地勢・沿革

●大分県最北端の村

本村は瀬戸内海の西端、大分県国東半島の北 5 kmの周防灘海域に位置する東西 6.6 km、南北 2.6 km、周囲 17 km、総面積 6.99 km²の一島一村の離島です。本村は、第三紀層の基盤の上に噴出した 4 つの火山が砂洲によって連結されてできたものであり、島の中央南端に矢筈岳（266.6m）がそびえ、それを中心に西端に達磨山（105m）、その北東に観音崎の半島基部をなす城山（62m）、東端に灯台のある柱ケ岳（45m）があります。

これらの連結された山間の平地に集落が形成されています。気候は、年平均気温 17.5℃と温暖で積雪はほとんどみられず、降雨量は年平均 1,500 mm前後です。

面積	6.99km²
位置	北緯　33度43分28秒 東経　131度38分43秒

※国土地理院数値を使用

江戸時代は杵築藩の領下で、明治 4 年に杵築県となりました。明治 5 年大分県第 1 大隊区第 1 会所（高田）の管下となり、翌 6 年第 1 大区 11 小区姫島となり、用務所が設置されました。明治 11 年東国東郡に属し、同 22 年姫島村となって現在に至っています。

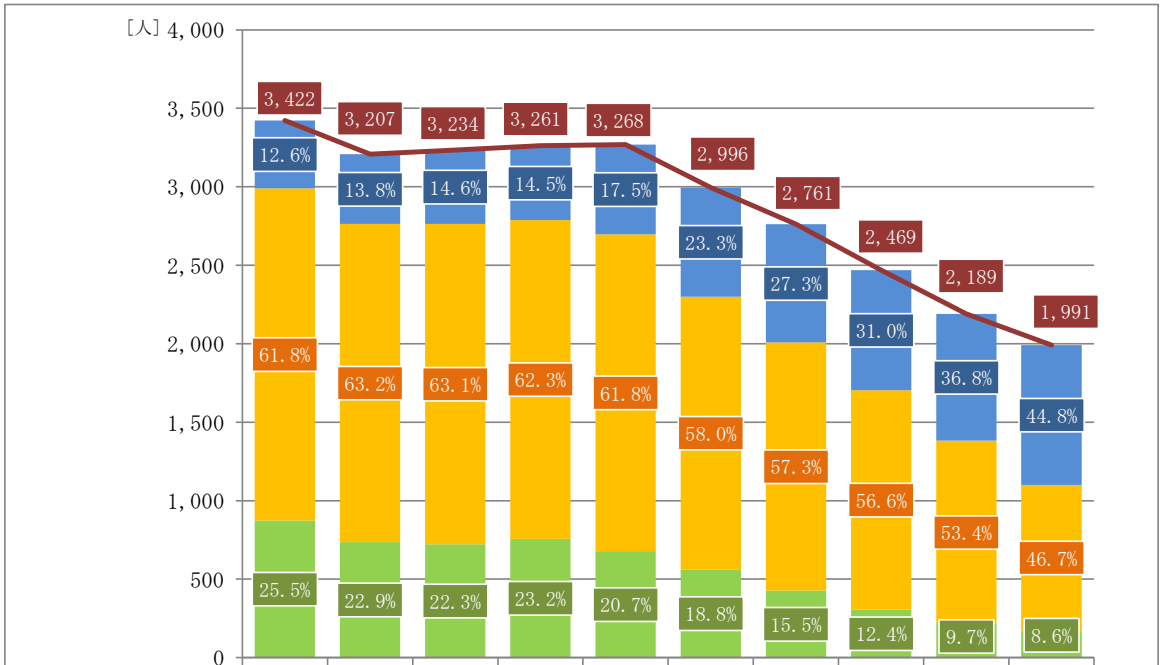
集落は、本村の中央部にそのほとんどが形成されていますが、中央部から隔たった東部にも集落があります。これらの集落は、6 つの駐在区からなっており、中央部には村の行政、経済の中心である役場、診療所、農協、漁協、商工会等があります。

第 2 節　人口動向

●1990 年（平成 2 年）以降減少傾向
●少子高齢化が進む

本村の人口は、1990 年（平成 2 年）以降は、減少傾向にあります。年齢 3 区分別の人口構成をみると、年少人口の構成割合は 1970 年（昭和 45 年）から 2015 年（平成 27 年）までに 25.5%から 8.6%まで下がっています。一方で、老年人口は 12.6%から 44.8%まで上がっており、少子高齢化が進んでいることがわかります。

図表 2-1　年齢 3 区分別人口推移



	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	
											[年]
老年人口	432	444	471	474	571	697	753	766	806	891	[人]
生産年齢人口	2,116	2,027	2,041	2,030	2,019	1,737	1,581	1,397	1,170	929	[人]
年少人口	874	736	722	757	678	562	427	306	213	171	[人]
人口	3,422	3,207	3,234	3,261	3,268	2,996	2,761	2,469	2,189	1,991	[人]

※国勢調査数値を使用

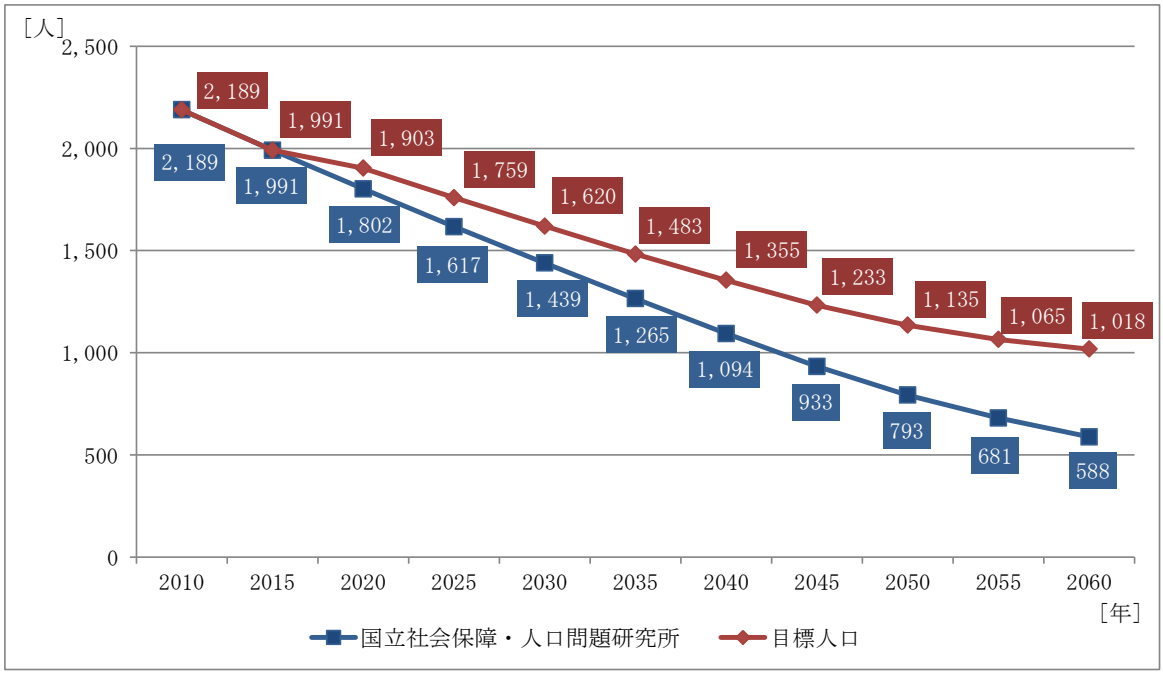
●人口減少に歯止めをかけ、2060 年（平成 72 年）の目標人口 1,000 人

国立社会保障･人口問題研究所の統計によると、本村はこのまま何の対策も取らなかった場合、2040 年（平成 52 年）までに人口が約半分になってしまうと推計されています。今後も少子高齢化の進展に伴い、人口の自然減が予想されることから、人口減少は避けては通れない状況にあります。

将来にわたって、村としての活力を維持していくためには、人口の定着を一層推進し、子育て環境の整備や雇用の場の拡大・創出など魅力と活力にあふれる村づくりに総合的に取り組むことにより、人口の減少をできる限り抑制する必要があります。

そのため、平成 27 年度に策定した姫島村人口ビジョン及び姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少に歯止めをかける各種施策の立案・推進を図り、2060 年（平成 72 年）での人口 1,000 人を目標としています。

図表 2-2　将来推計人口



※2015 年以前は国勢調査数値を使用
※2020 年以降は国立社会保障･人口問題研究所数値、
姫島村人口ビジョン　姫島村まち・ひと・しごと創生総合戦略数値を使用

第 3 節　流出入人口

●人口流入・流出ともに国東市が大半を占める

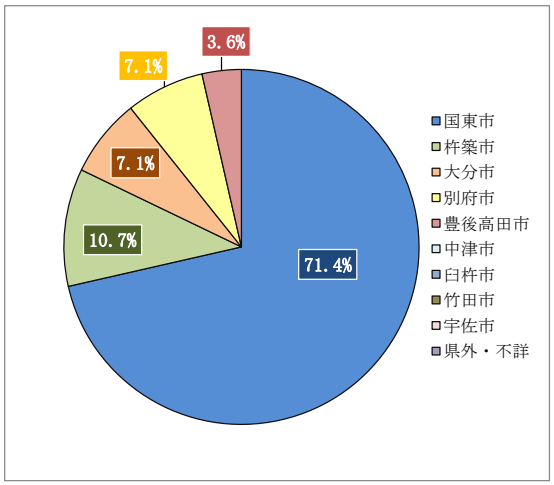
図表 2-3　流出入人口

	流入（人）	流出（人）
国東市	20	151
杵築市	3	1
大分市	2	2
別府市	2	2
豊後高田市	1	21
中津市	0	1
臼杵市	0	4
竹田市	0	1
宇佐市	0	3
県外・不詳	0	8
合計	28	194

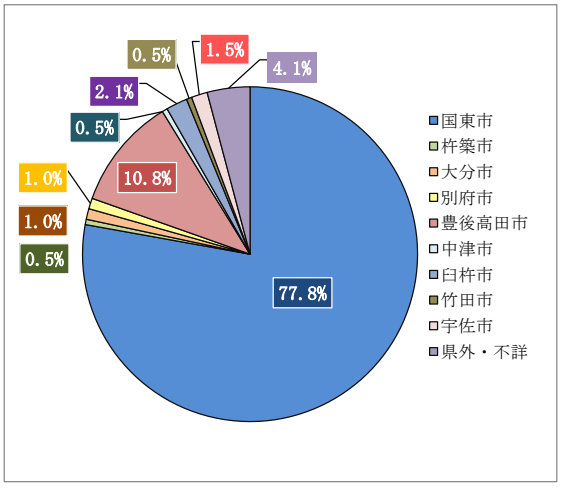
平成 22 年度の国勢調査結果によると、他市町村から本村へ流入する通勤・通学者数は、28 人となっています。このうち、国東市からの通勤・通学が最も多く、流入人口全体の 71.4%を占めています。

一方、本村を常住地とする通勤・通学者のうち、他市町村へ流出する人口は 194 人となっています。このうち、国東市への通勤・通学が流出人口全体の 77.8%を占めており、次いで豊後高田市となっています。

図表 2-4　流入人口割合（本村に通勤・通学する人）



図表 2-5　流出人口割合（本村を出て通勤・通学する人）



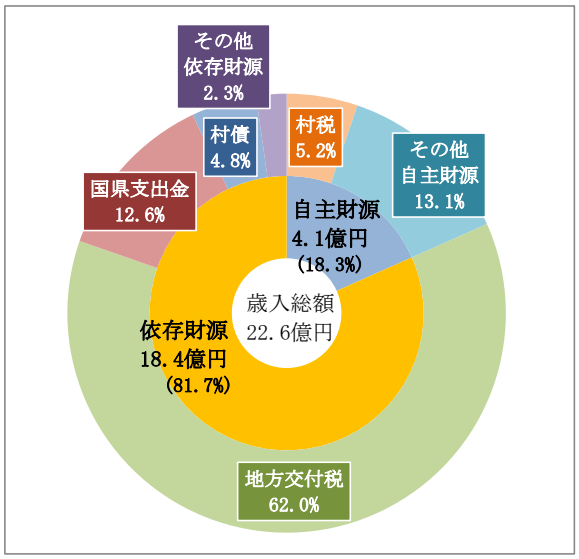
※平成 22 年度国勢調査数値を使用

第 4 節　財政状況

[平成 27 年度歳入]

●自主財源割合は約 18%、依存財源割合は約 82%

図表 2-6　平成 27 年度歳入内訳



※平成 27 年度歳入決算の数値を使用

平成 27 年度は、自主財源が 4 億 1 千万円で、歳入全体の 18.3%を占めています。

平成 27 年度は依存財源が 18 億 4 千万円で、歳入全体の 81.7%を占めています。

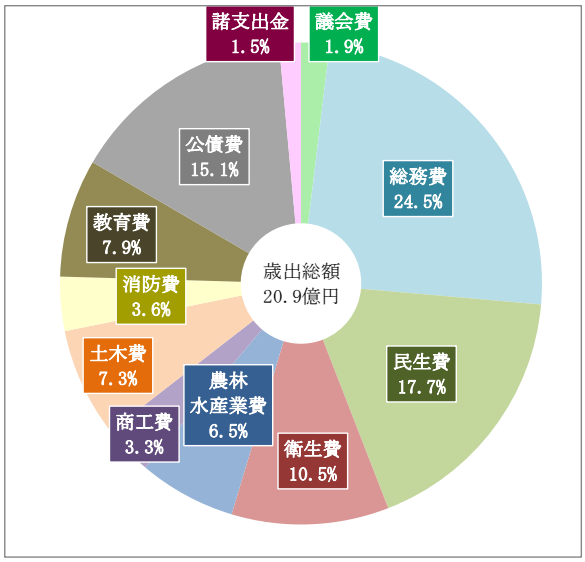
自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。

歳入は、大きく「自主財源」と「依存財源」にわけることができます。自主財源は、村が自主的に調達することができる財源のことで、村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料などがあります。依存財源は、国や県の意思によって定められた額を交付される財源のことで、国・県支出金や地方債などがあります。

[平成 27 年度歳出]

●歳出は、総務費、民生費が多くを占める

図表 2-7　平成 27 年度歳出内訳



※平成 27 年度歳出決算の数値を使用

歳出を目的別に分類すると、予算がどの分野にどれだけ配分されているかがわかります。

比較的大きな金額となっているものとしては、村役場の管理・運営、コミュニティの推進などのための費用として「総務費」が 24.5%を占めています。次いで、高齢者・障がい者などに対する福祉サービス・施設の管理運営などの「民生費」が 17.7%を占めています。

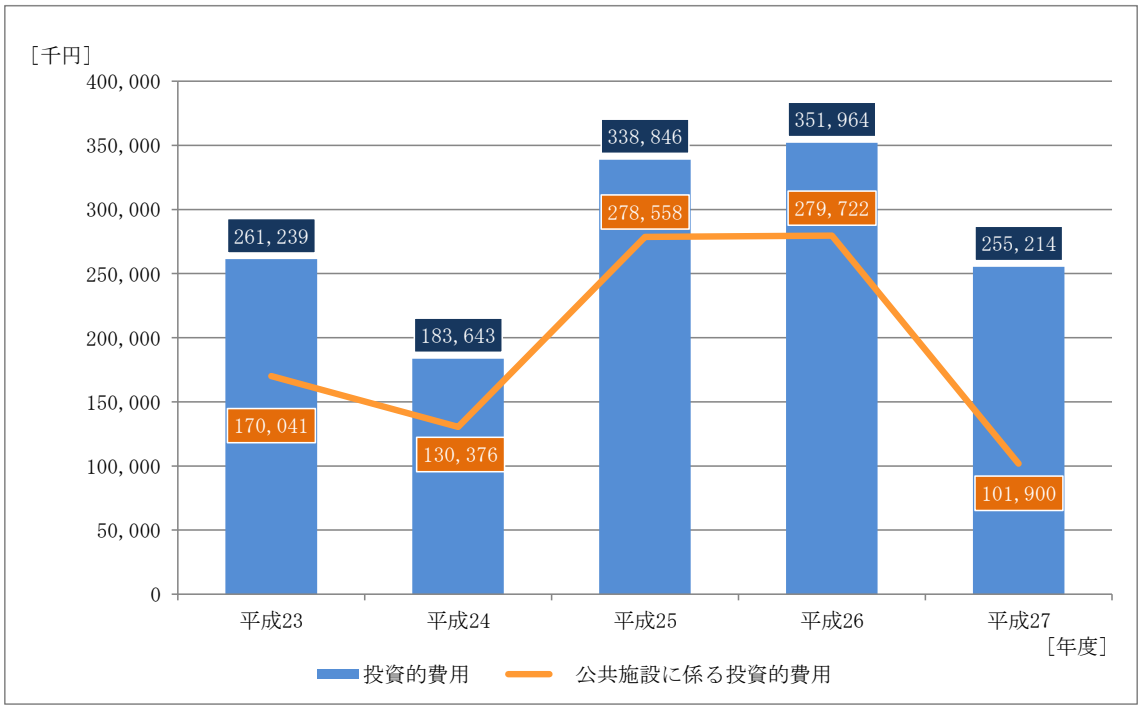
[投資的費用]

●投資的費用の約 40%を公共施設（ハコモノ）が占める

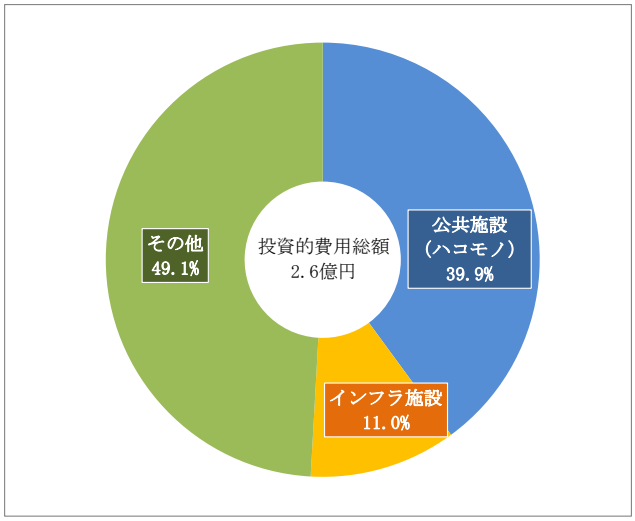
投資的費用とは道路、橋りょう、公園整備など、支出の効果が資本形成に向けられる費用で、普通建設事業費、災害復旧事業費などが該当します。

過去 5 年の推移をみると、平成 26 年度の 3 億 5 千万円が最大で、5 年平均では 2 億 8 千万円となります。平成 27 年度の投資的費用の内訳をみると、圃場整備事業や施設以外の工作物整備を含む「その他」が 49.1%と、全体の約半分を占めています。公共施設（ハコモノ）は全体の 39.9%、インフラ施設は 11.0%となっています。

図表 2-8　投資的費用の推移



図表 2-9　平成 27 年度投資的費用の内訳



※平成 27 年度決算数値を使用

第3章

公共施設等の現状と課題

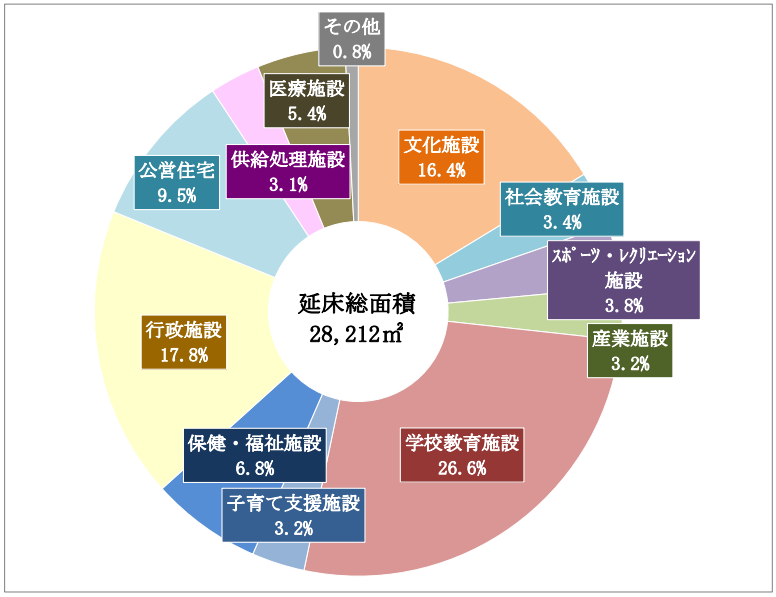
－公共施設等の数量把握、課題把握－

第 1 節　公共施設等の数量

●学校教育施設が約 27%と大きく占める

本村の公共施設等は、道路、橋りょう、水道管などの村民生活には欠かせないインフラ施設や小中学校や幼稚園などの教育施設をはじめ、公民館や軽スポーツセンター、公園のように広く村民の方が利用する施設、村役場等のように必要な行政サービスを提供するための施設など、さまざまな施設があります。

図表 3-1　公共施設（ハコモノ）延床面積割合



延床面積割合でみると、「学校教育施設」が 26.6%（7,495.6㎡）、次いで「行政施設」が 17.8%（5,029.6㎡）となっています。

図表 3-2　公共施設（ハコモノ）用途別総量

分類	延床面積（㎡）	割合（%）
文化施設	4,605.5	16.4
社会教育施設	952.6	3.4
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設	1,077.9	3.8
産業施設	905.6	3.2
学校教育施設	7,495.6	26.6
子育て支援施設	914.4	3.2
保健・福祉施設	1,914.9	6.8
行政施設	5,029.6	17.8
公営住宅	2,692.5	9.5
供給処理施設	872.0	3.1
医療施設	1,524.6	5.4
その他	227.0	0.8
合計	28,212.2	100.0

●村道、橋りょうの総面積は、約 166,535 ㎡

●簡易水道管、下水道管、漁業集落排水管の総延長は、約 46,151m

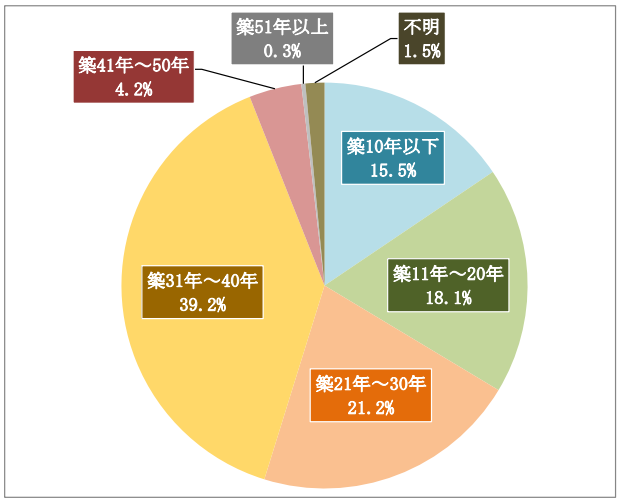
図表 3-3　インフラ施設用途別総量

分類		面積（㎡）
村道		144,898.9
橋りょう	PC	12,003.0
	RC	7,659.0
	鋼橋	1,744.0
	石橋	230.0
分類		**延長（m）**
簡易水道管	導水管・300 ㎜未満	3,167.0
	送水管・300 ㎜未満	2,404.0
	配水管・50 ㎜以下	6,308.0
	〃　・75 ㎜以下	4,098.0
	〃　・100 ㎜以下	1,869.5
	〃　・150 ㎜以下	2,464.0
	〃　・200 ㎜以下	877.5
下水道管	塩ビ管	19,726.0
漁業集落排水管	塩ビ管	5,237.0

第 2 節　建築経過年数

●公共施設（ハコモノ）の約 44%が築 31 年以上を経過
●文化施設・学校教育施設の建て替えが今後の財政状況に影響すると想定

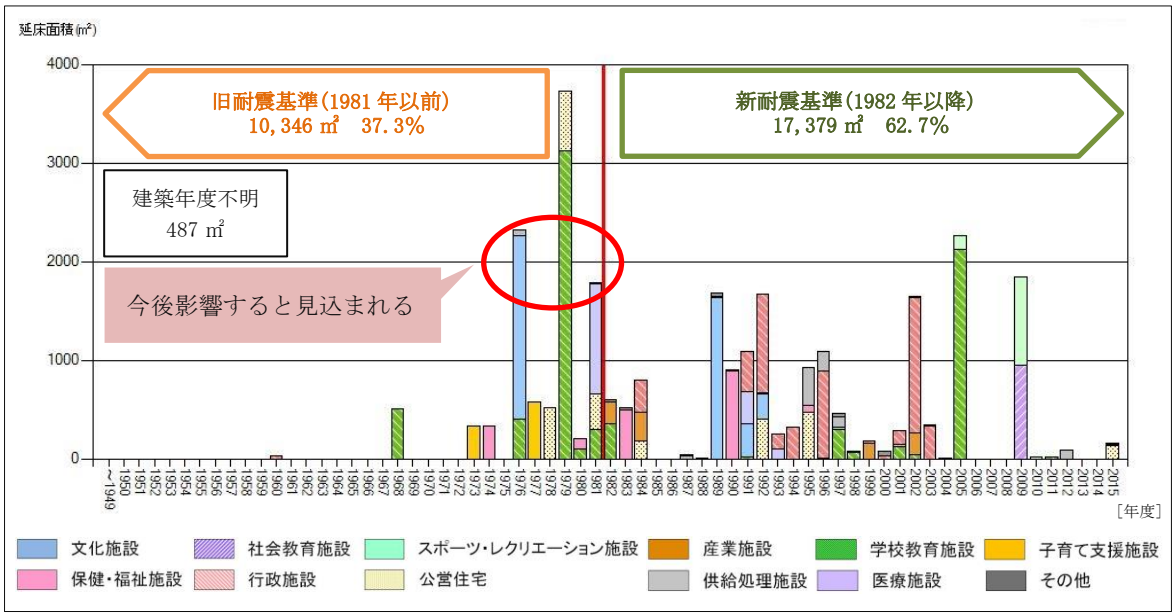
図表 3-4　公共施設（ハコモノ）建築経過年数割合



建築経過年数が 31 年以上の公共施設（ハコモノ）は全体の 43.7%を占めます。一般的に、建築経過年数が 30 年を超えると改修が必要と言われています。

用途別にみると、文化施設が 1976 年(昭和 51 年)、学校教育施設が 1979 年（昭和 54 年）に多く建てられているため、今後の建て替え時には財政状況に大きく影響すると見込まれます。

図表 3-5　建築年別の公共施設（ハコモノ）延床面積



第 3 節　将来の更新費用推計

[公共施設（ハコモノ）]

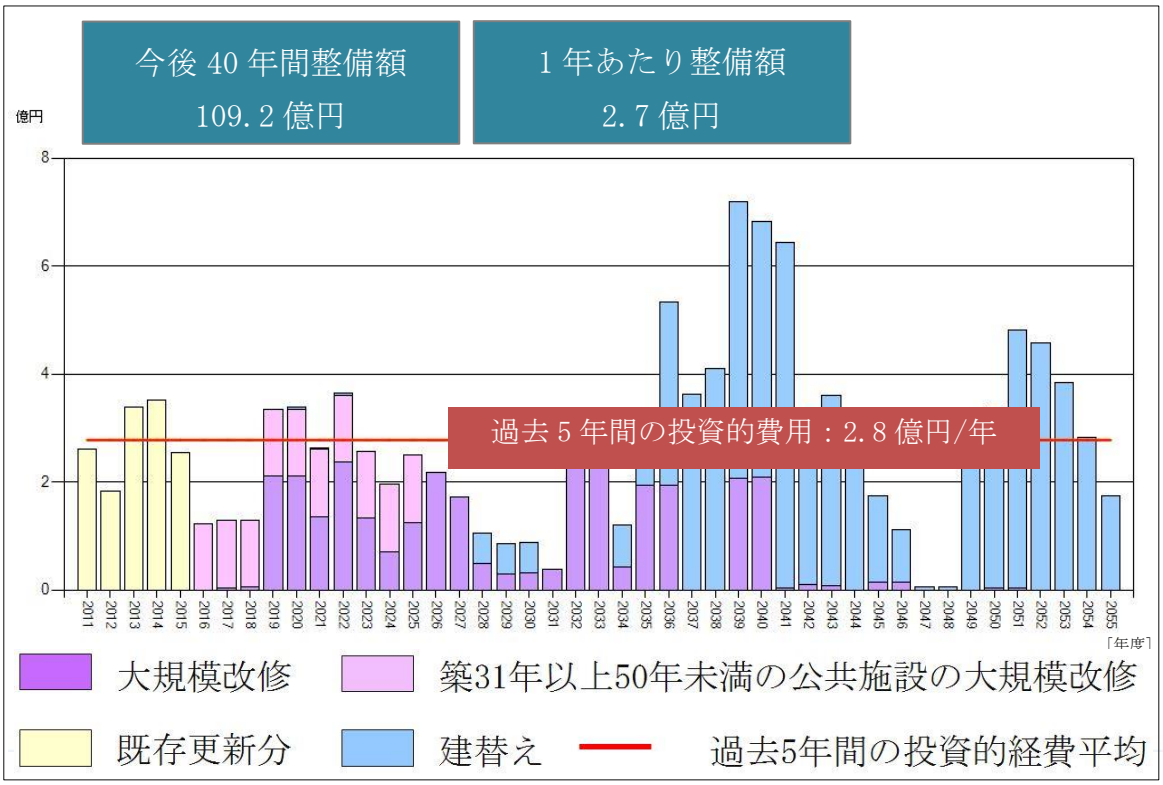
●今後 40 年間で更新費用は 109 億 2 千万円と推計

●1 年間で 2 億 7 千万円が必要

更新費用を試算した結果、今後 40 年間に必要な更新費用の総額は 109 億 2 千万円となり、1 年あたりでは 2 億 7 千万円必要となります。過去 5 年間における投資的費用と比べるとほぼ同程度ですが、更新費用として確保できる財源にも限界があります。

また、更新のピークとなる 2039 年度（平成 51 年度）には、1 年間で 7 億 2 千万円もの更新費用が必要となるため、計画的な予防保全を実施し、出来る限り財政負担の軽減や平準化に取り組んでいくことが必要となります。

図表 3-6　公共施設（ハコモノ）の更新費用推計



公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10（総務省）のシミュレーション条件を使用

[公共施設等（ハコモノ＋インフラ施設）]

●今後 40 年間で更新費用は、179 億 1 千万円と推計

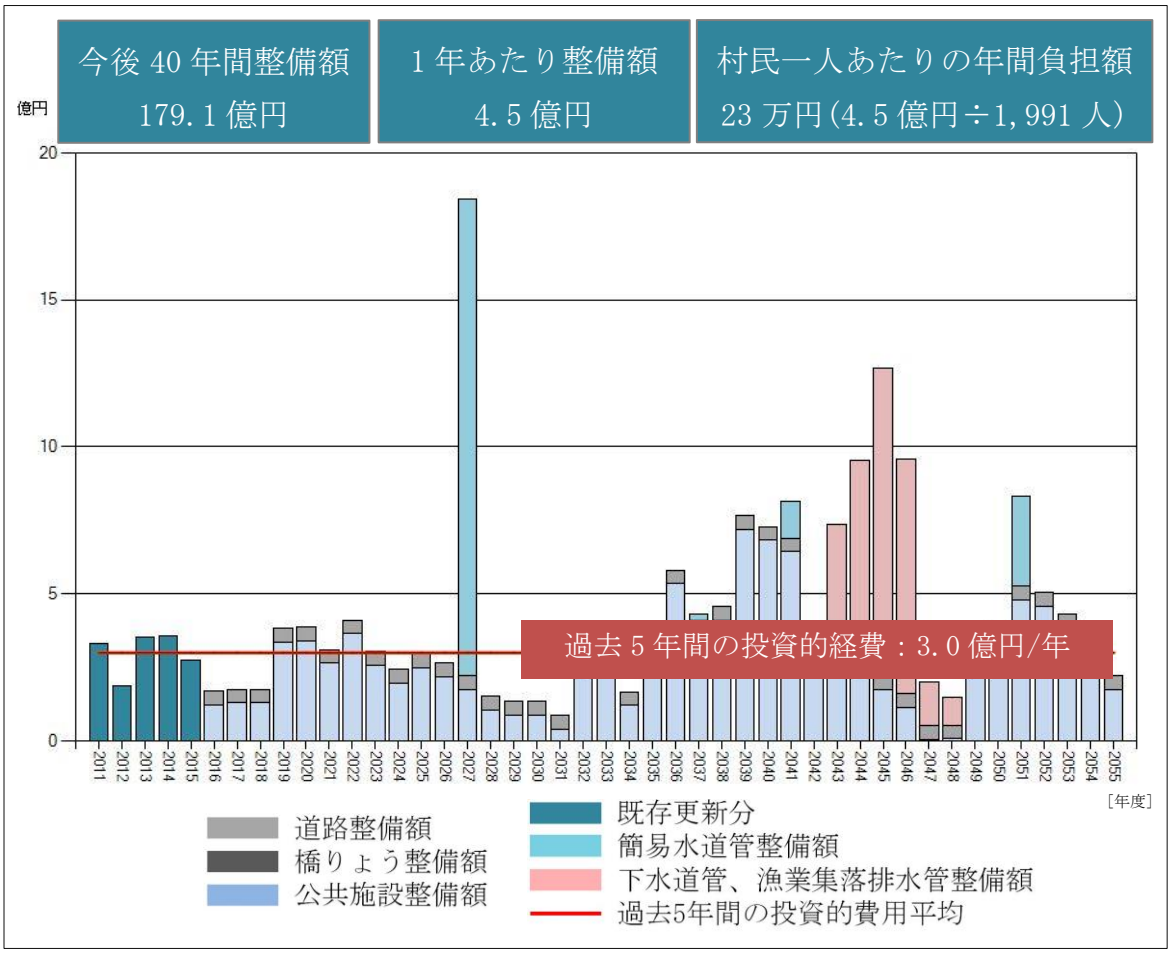
●1 年間で 4 億 5 千万円が必要（現在の 1.5 倍の額に相当）

公共施設（ハコモノ）及びインフラ施設の更新費用を試算した結果、今後 40 年間に必要な更新費用の総額は 179 億 1 千万円という莫大な額となり、1 年あたりでは 4 億 5 千万円必要となります。過去 5 年間における投資的費用が年間 3 億円であるため、今後は現在の約 1.5 倍の額が必要となります。

従来と同様に改修や建て替えの投資を継続していくとすると、本村の財政を圧迫し、他の行政サービスに重大な影響を及ぼす可能性が出てくることが予想されます。

また、改修や建て替えの費用は、突出して多くなる年があるため、年度毎の支出に極端な増減が生じてしまうものと推測されます。このような状況を回避するには、改修や建て替えにかかる費用を全体的に抑えるとともに、平準化させることが必要であり、今後は、中長期的な視点による計画的・戦略的な公共施設等の配置・管理に取組み、将来にわたって一定の目途をつける必要があります。

図表 3-7　公共施設等（ハコモノ＋インフラ施設）の更新費用推計



※村民一人あたりの年間負担額=1 年あたり整備額÷2015 年姫島村人口
公共施設等更新費用試算ソフト Ver.2.10（総務省）のシミュレーション条件を使用

第4章

公共施設等の
管理に関する基本方針

第１節　基本的な方針

[公共施設（ハコモノ）]

●新規建設時には、適正な用途・量を検討する

●既存の公共施設（ハコモノ）を最大限に有効活用する

●安全、安心、長期的に公共施設（ハコモノ）を活用できるよう取り組む

今後、新規建設時には、少子高齢化などの社会環境の変化も視野に入れ、適正な用途・量の検討を行います。

既存の公共施設（ハコモノ）については、村民サービスの充実やコスト削減を図るなど、最大限に有効活用します。

また、安心、安全、長期的に公共施設（ハコモノ）を活用できるよう、長寿命化対策や適正な維持・補修等を行うよう取り組みます。

[インフラ施設]

●新規建設及び建て替えや改修は平準的に実施する

●ライフサイクルコスト※1の縮減に取り組む

●安全、安心、長期的にインフラ施設を活用できるよう取り組む

道路や橋りょう、簡易水道管といった種別ごとに整備状況や老朽化度合いを考慮し、優先順位を検討し、新規建設及び改修や建て替えを平準的に実施します。

既存のインフラ施設については、機能を維持・向上させつつ、改修や建て替えコスト及び管理運営費の縮減に取り組みます。

また、安心、安全、長期的にインフラ施設を活用できるよう、長寿命化を可能な限り図るとともに、計画的、効率的な改修や建て替えに取り組みます。

※1) ライフサイクルコスト
製品や構造物等の企画、設計から解体廃棄されるまでにかかるコストのこと。建設費、運用費、一般管理費、保全費、改修費、建て替え費も含む。

第２節　実施方針

点検・診断等の実施方針

公共施設等を維持管理するため日常点検等を行います。また、長期保全計画の策定に当たっては、劣化診断を実施し経年による劣化状況、外的負荷による機能低下状況及び管理状況を把握するとともに、評価を行い、施設間における保全の優先度を判断します。

維持管理・修繕・更新等の実施方針

公共施設等の点検・診断を行うことにより、修繕等の必要な対策を適切な時期に着実かつ効率的・効果的に実施します。また、施設分類ごとに状態や対策履歴等の情報を記録し、今後の点検・診断・予防保全等に活用していきます。

安全確保の実施方針

公共施設等における安全確保は、利用者の安全を確保するとともに、資産や情報の保全を行うために必要となります。点検・診断等により危険性が認められた施設については、安全確保のための改修等を実施します。また、高度な危険性がみとめられた公共施設等や、老朽化等により、今後も利用する見込みのない公共施設等については、安全対策や除却等を推進します。

耐震化の実施方針

災害時に防災拠点や避難所となる公共施設等は、全て耐震化を実施しています。

また、その他の公共施設等についても、早期の耐震化を推進します。

長寿命化の実施方針

公共施設等については、劣化が進む前に予防保全を行うことで、公共施設等の長寿命化を図ります。

また、既に長寿命化計画を策定している公共施設等は計画に基づき、維持管理、修繕、更新等を実施することとし、ライフサイクルコストの削減を図ります。その他の施設については、長寿命化計画等を策定することを検討します。

村民との情報共有の実施方針

公共施設等総合管理計画の推進に当たっては、公共施設等を日々利用している村民との問題意識や情報の共有が不可欠です。今後も、公共施設等の在り方について、村民目線に立った幅広い議論を進めていくとともに、公共施設等に関する情報について、村報やケーブルテレビ、ホームページ等を通じて開示していきます。

総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

公共施設等の管理を総合的かつ計画的に実現するためには、全庁を挙げた推進体制の整備が不可欠です。そのため、関係各課で情報を共有し、有効活用や長寿命化に向けての取り組みを推進します。

また、議会や関連団体、村民等との情報の共有化により、意見を積極的に取り入れ活用し、公共施設等総合管理計画の推進を図ります。

第5章

施設分類ごとの
管理に関する基本方針

第１節　文化施設

古庄家

姫島開発総合センター

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	古庄家	487.0	不明	不明	木造				
2	姫島開発総合センター	1,864.0	1977/3/31	39	鉄筋コンクリート				
3	若者宿城山	1,637.0	1990/3/26	26	鉄筋コンクリート				
4	西浦地区公民館	114.9	1993/3/30	23	木造				
5	北浦地区公民館	141.1	1992/2/10	24	木造				
6	南浦地区公民館	114.9	1992/2/15	24	木造				
7	大海地区公民館	104.0	1992/3/31	24	木造				
8	金地区公民館	66.0	1993/3/30	23	木造				
9	稲積地区公民館	76.6	1993/3/30	23	木造				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、余剰スペースがある場合には他の公共施設等の機能移転等を検討し、施設の有効活用や村民の利便性の向上を図ります。

第２節　社会教育施設

姫島村教育委員会

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村教育委員会	952.6	2009/11/4	6	鉄骨鉄筋コンクリート				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、余剰スペースがある場合には他の公共施設等の機能移転等を検討し、施設の有効活用や村民の利便性の向上を図ります。

第 3 節　スポーツ・レクリエーション施設

姫島村軽スポーツセンター

姫島運動公園

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村 軽スポーツセンター	888	2009/11/4	6	鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ				
2	姫島運動公園	134	2006/3/29	10	鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ				
3	ゲートボール休憩所	39.4	2011/3/31	5	木造				
4	中村公園	16.56	2015/12/7	0	木造				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、利用率向上の方法を検討し、施設の有効活用や村民の利便性の向上を図ります。

第４節　産業施設

姫島村健康管理センター

姫島水産加工センター

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10年	20年	30年	40年
1	姫島村健康管理センター	225.6	1983/2/28	33	鉄筋コンクリート				
2	姫島水産加工センター	219.2	2003/1/9	13	鉄骨鉄筋コンクリート				
3	姫島村水産物鮮度保持施設	289.5	1985/3/31	31	鉄筋コンクリート				
4	姫島村水産物蓄養施設	156.0	1999/7/19	16	木造				
5	姫島車えび養殖センター	15.3	1989/11/10	26	木造				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、利用率向上の方法を検討し、施設の有効活用や村民の利便性の向上を図ります。

第５節　学校教育施設

姫島中学校

姫島村学校給食共同調理場

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10年	20年	30年	40年
1	姫島小学校	2,190.1	2006/3/9	10	木造				
2	姫島小学校体育館	510.0	1969/3/31	47	鉄骨造				
3	姫島中学校	2,335.0	1980/1/4	36	鉄筋コンクリート				
4	姫島中学校体育館	792.0	1980/3/1	36	鉄筋コンクリート				
5	姫島中学校武道場	350.0	1983/2/1	33	鉄骨造				
6	学校公衆便所	9.4	1982/8/10	33	コンクリートブロック				
7	姫島村学校給食共同調理場	291.0	1998/3/17	18	鉄筋コンクリート				
8	姫島小学校教員住宅（A棟・用作）	100.0	1977/3/30	39	コンクリートブロック				
9	姫島小学校教員住宅（B棟・用作）	100.0	1977/3/30	39	コンクリートブロック				
10	姫島小学校教員住宅（F棟・ロッジ前）	127.7	1982/3/26	34	コンクリートブロック				
11	姫島小学校教員住宅（G棟・ロッジ前）	127.7	1982/3/26	34	コンクリートブロック				
12	姫島中学校教員住宅（C棟・用作）	100.0	1977/3/30	39	コンクリートブロック				
13	姫島中学校教員住宅（D棟・用作）	100.0	1977/3/30	39	コンクリートブロック				
14	姫島中学校教員住宅（E棟・中学校前）	100.0	1981/3/18	35	コンクリートブロック				
15	姫島中学校教員住宅（H棟・旧小学校前）	64.7	2001/12/12	14	木造				
16	姫島中学校教員住宅（I棟・旧小学校前）	64.7	2001/12/12	14	木造				
17	姫島村教員住宅倉庫	77.5	1998/9/11	17	木造				
18	スクールバス車庫	40.5	2002/6/20	13	木造				
19	スクールバス待合所	15.0	2012/3/26	4	木造				

※経過年数は平成27年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、将来の人口動向や児童・生徒数の推移を勘案し、施設のあり方を検討していきます。

第 6 節　子育て支援施設

姫島村保育所

姫島幼稚園

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村保育所	581.4	1978/3/25	38	鉄筋コンクリート				
2	姫島幼稚園	333.0	1974/3/10	42	鉄筋コンクリート				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、将来の人口動向や園児数の推移を勘案し複合化を図る等、施設のあり方を検討していきます。

第７節　保健・福祉施設

高齢者生活福祉センター姫寿苑

老人憩の家白寿苑

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	高齢者生活福祉センター姫寿苑	890.5	1991/3/30	25	鉄骨鉄筋コンクリート				
2	老人憩の家白寿苑	524.5	1975/3/31	41	鉄骨造				
3	姫島村保健センター	499.8	1984/3/25	32	鉄筋コンクリート				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、余剰スペースがある場合には他の公共施設等の機能の移転等を検討し、施設の有効活用や村民の利便性の向上を図ります。

第８節　行政施設

姫島村役場

姫島村情報センター

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村役場	1,248.7	2002/10/11	13	木造				
2	姫島村役場倉庫（派遣医師住宅北側）	103.1	1992/3/31	24	鉄骨造				
3	姫島村役場倉庫（旧小学校特別教室）	320.0	1985/3/1	31	鉄筋コンクリート				
4	姫島村情報センター	329.0	2003/10/8	12	鉄筋コンクリート				
5	潮風荘	41.1	1996/10/16	19	鉄骨造				
6	旧専売公社倉庫	28.5	1960/12/10	55	コンクリートブロック				
7	工場施設	310.6	1991/10/20	24	鉄筋コンクリート				
8	伊美港公用車車庫	148.0	1993/11/2	22	コンクリートブロック				
9	姫島村火葬場	128.0	2002/4/15	13	コンクリートブロック				
10	姫島村斎場	267.0	1992/7/20	23	コンクリートブロック				
11	姫島村清掃センター	847.0	1997/2/1	19	コンクリートブロック				
12	消防ポンプ格納庫	207.6	1999/6/29	16	コンクリートブロック				
13	姫島港船客待合所	723.2	1993/3/15	23	コンクリートブロック				
14	伊美港船客待合所	322.9	1995/2/28	21	コンクリートブロック				
15	伊美港駐車場管理棟	5.0	1993/10/18	22	木造				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、老朽化の著しい施設は必要に応じて改修や建て替えを行い、施設の安全確保と村民の利便性の向上を図ります。

第９節　公営住宅

姫島村営中村住宅（4-1～4-2）

姫島村営用作住宅（7-8～7-11）

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村営用作住宅（53-1～53-6）	259.2	1979/3/25	37	コンクリートブロック				
2	姫島村営用作住宅（53-7～53-8）	106.8	1979/3/25	37	コンクリートブロック				
3	姫島村営用作住宅（53-10～53-12）	148.5	1979/3/25	37	コンクリートブロック				
4	姫島村営用作住宅（54-1～54-3）	172.2	1980/3/25	36	コンクリートブロック				
5	姫島村営用作住宅（54-5～54-7）	172.2	1980/3/25	36	コンクリートブロック				
6	姫島村営用作住宅（54-8～54-12）	255.2	1980/3/25	36	コンクリートブロック				
7	姫島村営第二用作住宅（56-1～56-7）	370.2	1982/3/20	34	コンクリートブロック				
8	姫島村営用作住宅（59-5～59-7）	185.7	1985/3/30	31	コンクリートブロック				
9	姫島村営中村住宅（4-1～4-2）	134.2	1993/3/24	23	鉄筋コンクリート				
10	姫島村営中村住宅（4-3～4-5）	134.2	1993/3/24	23	鉄筋コンクリート				
11	姫島村営中村住宅（4-6～4-7）	134.2	1993/3/24	23	鉄筋コンクリート				
12	姫島村営第二用作住宅（7-1～7-2）	106.4	1996/3/25	20	コンクリートブロック				
13	姫島村営第二用作住宅（7-3～7-5）	106.4	1996/3/25	20	コンクリートブロック				
14	姫島村営用作住宅（7-6～7-7）	106.4	1996/3/25	20	コンクリートブロック				
15	姫島村営用作住宅（7-8～7-11）	159.6	1996/3/25	20	コンクリートブロック				
16	村営用作住宅（27-1～27-2）	141.1	2015/8/31	0	鉄筋コンクリート				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

「姫島村公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的に維持管理し延命化を図ります。

第 10 節　供給処理施設

姫島浄化センター

姫島村し尿処理場

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島浄化センター	431.3	1996/3/19	20	鉄筋コンクリート				
2	大海浄化センター	94.0	1995/6/22	20	鉄筋コンクリート				
3	金浄化センター	84.0	1997/3/9	19	鉄筋コンクリート				
4	稲積浄化センター	79.0	1996/4/5	19	鉄筋コンクリート				
5	姫島村し尿処理場	92.0	2012/4/16	3	鉄筋コンクリート				
6	浄水場管理棟	56.7	1977/3/31	39	鉄筋コンクリート				
7	第二水源地取水塔	17.0	1977/3/31	39	鉄筋コンクリート				
8	第三水源地ポンプ室	17.9	1988/3/31	28	鉄筋コンクリート				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図るとともに、アセットマネジメント※2 に取り組み、効率的、計画的な予防保全や施設整備を行い、財政負担の縮減及び平準化を図ります。

※2) アセットマネジメント

上下水道におけるアセットマネジメント（資産管理）とは、持続可能な上下水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、上下水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に管理運営する体系化された実践活動のこと。

第 11 節　医療施設

姫島村国民健康保険診療所

医師住宅（B 棟・西側）

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	姫島村国民健康保険診療所	1,098.6	1982/3/25	34	鉄筋コンクリート				
2	医師住宅（A 棟・東側）	115.0	1982/3/25	34	鉄筋コンクリート				
3	医師住宅（B 棟・西側）	80.0	1982/3/25	34	鉄筋コンクリート				
4	医師住宅（三浦医師宅）	98.0	1994/3/20	22	木造				
5	医師住宅（派遣医師宅）	133.0	1992/1/31	24	木造				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図ります。

第 12 節　その他

公衆便所（中央公園）

公衆便所（フェリー広場）

対象施設

連番	名称	延床面積［㎡］	建築年月日	経過年数［年］	構造	経過年数			
						10 年	20 年	30 年	40 年
1	公衆便所（灯台駐車場）	9.36	1982/2/13	34	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
2	公衆便所（松原公民館横）	9.36	1982/8/5	33	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
3	公衆便所（観音崎）	9.36	1982/8/10	33	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
4	公衆便所（金漁港）	9.36	1982/8/10	33	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
5	公衆便所（拍子水）	9.36	1983/7/10	32	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
6	公衆便所（大帯八幡社）	9.36	1983/12/1	32	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
7	公衆便所（北浦漁港）	9.36	1987/12/7	28	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
8	公衆便所（大海公園）	9.36	1989/3/11	27	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
9	公衆便所（姫島港南船溜）	11.62	1990/1/19	26	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
10	公衆便所（北浦公園）	9.36	1990/3/25	26	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
11	公衆便所(若者の宿駐車場)	14.6	1990/3/26	26	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
12	公衆便所（西浦漁港）	8.43	1990/8/6	25	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
13	公衆便所（大海漁港）	8.34	1997/10/7	18	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
14	公衆便所（稲積漁港）	8.43	1997/10/7	18	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
15	公衆便所（西村記念公園）	11.6	1998/3/30	18	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
16	公衆便所（南浦斎場前）	52.54	2000/4/1	15	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
17	公衆便所（中央公園）	11.6	2003/3/15	13	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
18	公衆便所（中村公園）	11.62	2003/8/7	12	ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾌﾞﾛｯｸ				
19	公衆便所（フェリー広場）	4	2015/7/30	0	鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ				

※経過年数は平成 27 年度末時点から算出をしています

○方針

適切に維持管理し延命化を図ります。

第 13 節　インフラ施設

[道路]

道路は村民生活に直結する重要なインフラ施設です。
適切に維持管理し、安全性を確保するよう努めます。

[橋りょう]

平成 24 年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に則り、定期的な点検を実施し、予防保全を行います。また、長寿命化並びに修繕・架替えに係る費用の縮減を図りながら、地域の道路網の安全性・信頼性を確保します。

[簡易水道管]

離島にとって水は命であり、欠かすことのできない最も大切なものの一つです。
質・量ともに安心して飲める水が供給できるよう維持・管理していきます。

[下水道管・漁業集落排水管]

水産業を主産業とする本村にとって必要不可欠なインフラ施設です。
水質悪化による悪影響を防ぎ、良好な魚の住める美しい海を守るため戦略的な維持管理･更新等による長寿命化やライフサイクルコストの縮減を図ります。

姫島村　公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月発行

発行：大分県姫島村
編集：総務課
住所：〒872-1501
大分県東国東郡姫島村 1630 番地の 1
ＴＥＬ：0978-87-2111
ＦＡＸ：0978-87-3629
ＵＲＬ：http://www.himeshima.jp/